

広瀬学区（町・地区）まちづくり推進委員会

副委員長 瀬良 繁實

（問合せ先） 084-972-2171（広瀬交流館）

事業内容

- | | |
|-------------------|---------|
| （1）広瀬学区民運動会 | （5月26日） |
| （2）奉仕作業（除草） | （6月2日） |
| （3）広瀬学区民夏祭り | （8月14日） |
| （4）広瀬学区自主防災 | （通年） |
| （5）勝丸恭子さんの防災セミナー | （9月29日） |
| （6）とんど | （1月10日） |
| （7）まちづくり推進委員会運営事業 | （通年） |



『広瀬学区民運動会』

地域の老若男女、広瀬学園の児童や生徒たちが、燃えあがる、年に一度のスポーツの祭典！！

成果

『広瀬学区民運動会』をはじめとする行事の開催により、地域住民と学園関係者が一堂に会し、地域の交流が深められるとともに、人とひとのつながりの大切さを実感しつつ、今後の地域活性化と絆を高めあう有意義な機会となった。

課題

小規模学区の地域課題解決に向けた必要課題を再検討していく必要がある。

課題解決にむけて

地域内の役職のスリム化を図り、住民が負担を感じることなく、楽しみながらまちづくりの主役となれるような独自の取り組みを模索していきたい。



勝丸恭子さんの防災セミナー



広瀬のお宝

古代山城『茨城』推定地と『芋原の大スキ跡』
みんなで学び ⇒ 守っていきましょう！！



【 古代山城 】

国土の防衛を目的として築かれた施設です。

朝鮮半島では、唐(中国)と新羅(朝鮮)の連合軍に滅ぼされた百済(朝鮮)の再興要請を受けて救援に向かった倭軍(日本軍)は白村江の戦い(663年)で惨敗しました。

その後、倭国は唐と新羅の連合軍が日本に攻めて来る事を恐れ、北九州から瀬戸内にかけて山城を築き、現在 25 城が知られています。



【 芋原の大スキ跡 】

『続日本紀』の養老三年(719年)の条に『備後国 安那郡 茨城 停』と記載されています。長い間「茨城」は所在が未確定でしたが、2023年3月に古代山城研究会と備陽史探訪の会が「芋原の大スキ跡」を合同踏査し、古代山城に特有の土塁が芋原の外周(広瀬交流館を囲む約3km)を断続的に巡っており、古代の山城である可能性が非常に高いことを確認しました。